

実感が低下した分野

1 「余暇の充実」の実感

① 分野別実感の概況

ア 分野別実感の推移

実感平均値は 2.93 点であり、基準年調査より 0.11 点低下しています。

t 検定を行った結果、基準年調査に比べて有意に低下していることから、当該分野の実感は低下していると考えられます。

イ 属性別の状況

○ 令和 5 年県民意識調査の状況

- ・ 年代別では、「50～59 歳」が低く、「20～29 歳」が高くなりました。
- ・ 職業別では、「自営業主」が低く、「学生＋その他」が高くなりました。
- ・ 居住年数別では、「20 年以上」が低く、「10～20 年未満」が高くなりました。
- ・ 広域振興圏別では、「沿岸広域振興圏」が低く、「県央広域振興圏」が高くなりました。

○ 令和 5 年県民意識調査と基準年調査との比較

基準年調査と比較して有意に変化した属性は表 1 のとおりでした。

表 1 「余暇の充実」の実感において有意な変化があった属性と基準年差

属性		H31	R 5	R 5 - H31
県計		3.05	2.93	▲ 0.11
男女	男性	3.01	2.91	▲ 0.10
	女性	3.08	2.95	▲ 0.13
年代	30～39 歳	2.71	3.02	0.31
	70 歳以上	3.36	2.98	▲ 0.37
職業	60 歳以上の無職	3.26	2.89	▲ 0.37
世帯構成	夫婦のみ	3.24	3.00	▲ 0.24
子どもの数	2 人	3.10	2.93	▲ 0.18
	3 人	3.08	2.89	▲ 0.19
居住年数	20 年以上	3.03	2.91	▲ 0.12
広域振興圏	県央広域振興圏	3.17	3.03	▲ 0.14
	沿岸広域振興圏	3.09	2.87	▲ 0.22

② 分野別実感が低下した要因

- ・ 県民意識調査の結果、実感が有意に低下した属性は、表 1 のとおりであり、年代別「70 代以上」及び職業別「60 歳以上の無職」において低下幅が大きい傾向にあります。
- ・ これらの属性について、県民意識調査の生活行動時間の結果を見てみると、「60 歳以上の無職」については、他の属性に比べて、自由な時間が確保されている状況にあり、補足調査で把握している「分野別実感の回答理由と関連が強い要因」において、これらの属性で「あまり感じない・感じない」と回答した人の回答項目の上位は、「知人・友人との交流」及び「趣味・娯楽活動の場所・機会」となっています。
- ・ 補足調査で把握している「分野別実感の回答理由と関連が強い要因」において、実感が低下した人が選択した上位 3 位の項目は、以下のとおりでした。
 - (ア) 自由な時間の確保
 - (イ) 知人・友人との交流
 - (ウ) 趣味・娯楽活動の場所・機会

- ・ 補足調査結果において、実感が低下した人と、実感が横ばい又は上昇した人の「分野別実感の回答理由と関連が強い要因」の項目を比較すると、「運動や行動の制限の有無」において、実感が上昇した人の回答が少ない一方で、実感が低下した人で回答が多いことから、当該理由も実感が低下した要因の一つと推測されます。
- ・ 以上を踏まえ、当該分野の実感が低下した要因は、「自由な時間が十分に確保できなかったこと（仕事、親の介護、家事など）」、「知人・友人との交流が減ったこと（新型コロナウイルス感染症の影響、仕事で予定が合わないなど）」、「趣味・娯楽活動の場所・機会が減ったこと（新型コロナウイルス感染症の影響、時間やお金に余裕が無いなど）」、「運動や行動の制限があったこと（新型コロナウイルス感染症対策、体力の低下、病気など）」であると推測されます。

③ 一貫して高値又は低値で推移している属性とその要因

- ・ 平成 28 年から令和 5 年までの県民意識調査で、一貫して高値（4 点以上）で推移している属性はなく、低値（3 点未満）で推移している属性は表 2 のとおりです。
- ・ なお、年代別「60～69 歳」、広域振興圏別「県南広域振興圏」及び「県北広域振興圏」については、基準年（平成 31 年）以降一貫して低値で推移している属性であり、これらについても同様に分析を行いました。
- ・ これらの属性のうち年代別「50～59 歳」を除く 8 属性を有し、令和 5 年の補足調査で把握している「分野別実感の回答理由と関連が強い要因」において、「あまり感じない・感じない」と回答した人が選択した上位 3 位の項目は、「自由な時間の確保」、「趣味・娯楽活動の場所・機会」及び「知人・友人との交流」と全て同一でした。
- ・ 同様に、年代別「50～59 歳」における上位 3 位の項目は、「自由な時間の確保」、「趣味・娯楽活動の場所・機会」及び「運動や行動の制限の有無」でした。
- ・ 令和 4 年までに、過去 2 回以上実感が低い要因として推測されたものは、「自由の時間が十分に確保できなかったこと」、「趣味・娯楽活動の場所・機会が少ないこと」及び「知人・友人との交流が少ないこと」でした。
- ・ 以上のことから、「自由な時間が十分に確保できなかったこと」、「趣味・娯楽活動の場所・機会が少ないこと」及び「知人・友人との交流が少ないこと」が、低値で推移している要因として推測されます。

表 2 「余暇の充実」の実感において低値で推移している属性

属性		H28	H29	H30	H31	R 2	R 3	R 4	R 5
年代	40～49 歳	2.88	2.82	2.88	2.87	2.88	2.83	2.83	2.88
	50～59 歳	2.68	2.85	2.79	2.92	2.78	2.70	2.81	2.80
	60～69 歳				2.99	2.90	2.98	2.93	2.88
職業別	常用雇用者	2.82	2.87	2.82	2.89	2.85	2.86	2.84	2.90
世帯構成	2 世代世帯	2.80	2.98	2.94	2.97	2.84	2.92	2.93	2.90
子の数	子どもはいない	2.84	2.92	2.97	2.92	2.91	2.91	2.88	2.94
広域振興圏	県南広域振興局				2.95	2.92	2.90	2.97	2.90
	県北広域振興局				2.96	2.90	2.93	2.97	2.90

○「余暇の充実」に係る主な意見

No.	意見内容	発言者	区分	発言部会
1	補足資料の推測からの結果を見ると、例えばなのですけれども、資料の5—2の3ページですか、余暇が充実していますかということで、ここが県民意識調査の結果なのですね。となると、男女問わず低下しているというのは、それはそうですけれども、年代は70歳以上と書いてあります。時間があって、でも自由な時間は確保されても、交流はないし、趣味もないしということで充実をしていないという、70歳以上はそういうふうに感じていらっしゃるという可能性は十分あるかなと。さらにいうと、60歳からの無職がそれは多分そうなのだなということにはなる、エビデンス何もないですけれども、そう連想できるというふうに思いました。	Tee委員	意見	第1回
2	することがないというよりは、したいことができないのだと思うのです。私もまだこの全部のデータ見ているわけではないので、かなり直感的な感想というレベルですけれども、資料の7でいうと、補足調査結果からの推測あるいはまとめのところの②、③の要因、知人・友人との交流あるいは趣味・娯楽活動の場所・機会、これが低下の原因であるというのは、何となく取りあえずはコロナの影響ということで済ませてでもいいのかなと、取りあえずですよ。この結果がもし続くようであれば、また別の要因もあるのかなと思いますけれども。だから、本当は出かけたいのだけれども、出かけられない、あるいは出かけるのが怖い、夜の野外にもちょっと行きにくい、実際私もそういう感じは持っていましたので、行っていないからちょっとそういうことはないのでありますが、そういう感じは持っていたわけ。	谷藤委員	意見	第1回
3	いわゆる老老介護の問題とか、あるいはちょっと今ざっと7—2見た限りではそうでもないかなと思ったのですが、夫婦ですとどちらも年寄りで子供も頼れなくて、一方が一方の面倒を見ているというケースが出てくるのですよね。これも老老介護の一形態かとは思いますが、そういったことで余暇時間が取れないということになってきている可能性はあるのかなと、ふと思ったところ。	谷藤委員	意見	第1回
4	平成31年という基準年がちょっと高く出ているというのも少々あるのかなという気はしています。例えば60歳以上無職、何か全体にちょっと高いかもしれないです、この年が。ほかの年と比べると。ほかの前後と比べると全体に高めに何か出ていることもひょっとするとちょっとかなり顕著に、基準年比較ですと顕著に見える要因の一つかなという気もしてはありました。	山田委員	意見	第1回
5	コロナの要素も、まず何といっても3年間続いてしまっているの、あとは資料4—2の具体的な内容のところを拝見してもそれこそ先ほどお話あった収入のところとするとなかなかちょっと難しいですとかということも出てくるので、その両方のところを加味しないとならないかなと。	山田委員	意見	第1回
6	実はちょっと私は買物環境というののもちょっと気にはなって、実際御自身の生活を維持していくことで買物がもししくなっているとすると、とりわけ冬場なんて、さっき谷藤委員さんがおっしゃったとおりなのですが、やはりより時間がかかる、遠くに行かなければならないということで、より生活時間として割かなければならなくなるという、そういったこともあるかなと思いつながり拝見していました。	山田委員	意見	第1回
7	余暇というのがまず健康であることが大事だから、まず健康状態はそんなに悪くはないのだけれども、その中で活動していこうとしても、その実感がなかなか思ったほど高くないなという感じはしますね。特にちょっと今年の場合は、高齢層なんかで前は数値もっと高かったのに、70歳以上のところでほかの年齢層よりは高いかもしれないけれども、同じ年齢層同士で4年前と比べるとぼんと落ちているという感じはちょっとあるのではないかなと。その影響が、だからその年による短期的な影響なのか、それともトレンド的なものになってしまうのかはちょっとまだ分からないのでしょうけれどもね。今日、事務局の方でつくっていただいた自由な時間が十分に確保できなかったことはあるでしょうと。	吉野 部会長	意見	第1回
8	知人・友人との交流が減った、あるいは活動の場所・機会が減ったというのは、やっぱりコロナの影響としてここ3年間ぐらいは十分推測できることと、最後に谷藤さんちらっと言ったお金、余暇に使える原資が十分に確保できなくなってしまったと。高齢者だと年金がほかのものにどうしても使ってしまうからということですかね、生活費にかかる割合が高くなるとか。	吉野 部会長	意見	第1回
9	蓄えがあったとしても、恐らく年を取るほど使えなくなるのですよ、これは。やっぱり将来何か起こったときにほかの収入がないとなると、現役世代は一旦取り崩しても挽回するチャンスがあるけれども、年金生活者はもうないですから、そう思うと使えないのですよ。	谷藤委員	意見	第1回

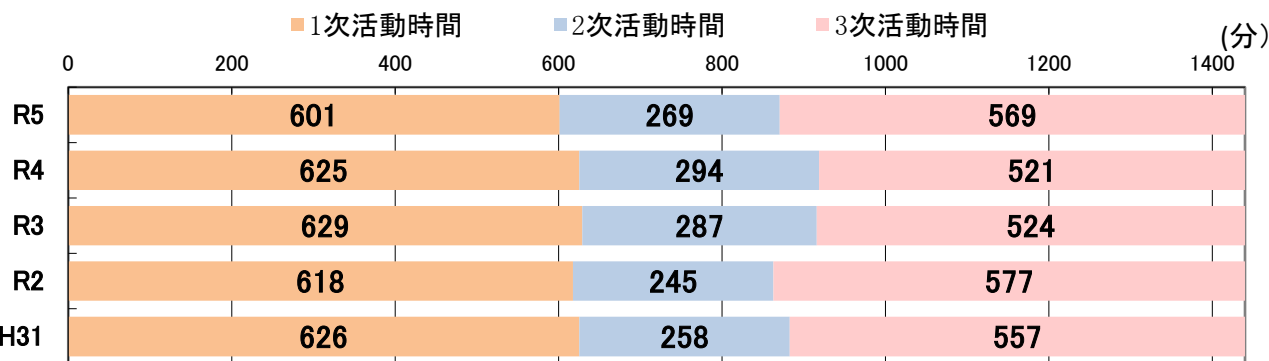
10	<p>今回も余暇の充実の70歳以上のところを見ると、特に「感じる」、「どちらともいえない」、「感じない」の差が大きいところを注目すると、すごく私は類推しやすいのではないかと考えていて、これ感じる人は自由な時間と家族との交流が多くて、逆のそれが低いのですよね。</p> <p>では、感じない人は何をフォーカスしたかというところ、文化芸術活動の場所とか、鑑賞したかどうかはないのですけれども、その辺りで、では場所が少ないと思ったのであれば、例えばですけれども、何か敬老文化センターとか鑑賞の敬老パスみたいなものをつくって配るとか、そういうような引っ張り上げ方の施策というのが浮かんでくるのではないかなと。</p>	若菜委員	意見	第1回
11	<p>(余暇時間について) あくまでもいろんな第1次、第2次の活動の時間から引いたものということで、時間の絶対量というところに対して、こちらの分野別実感のほうは「余暇が充実していると感じますか」という主観のところなので、このところはちょっとやはり質が違うところかなというふうに思っています。</p>	山田委員	意見	第2回
12	<p>70歳以上の補足調査の結果を見ると、「あまり感じない」の理由が知人・友人との交流、趣味、活動、運動といって、時間がここに入っていないのですよね、トップスリーに。そこをどう注釈に入れるかというのがポイントだろうかなというふうには感じております。</p>	和川委員	意見	第2回

【70歳以上無職】

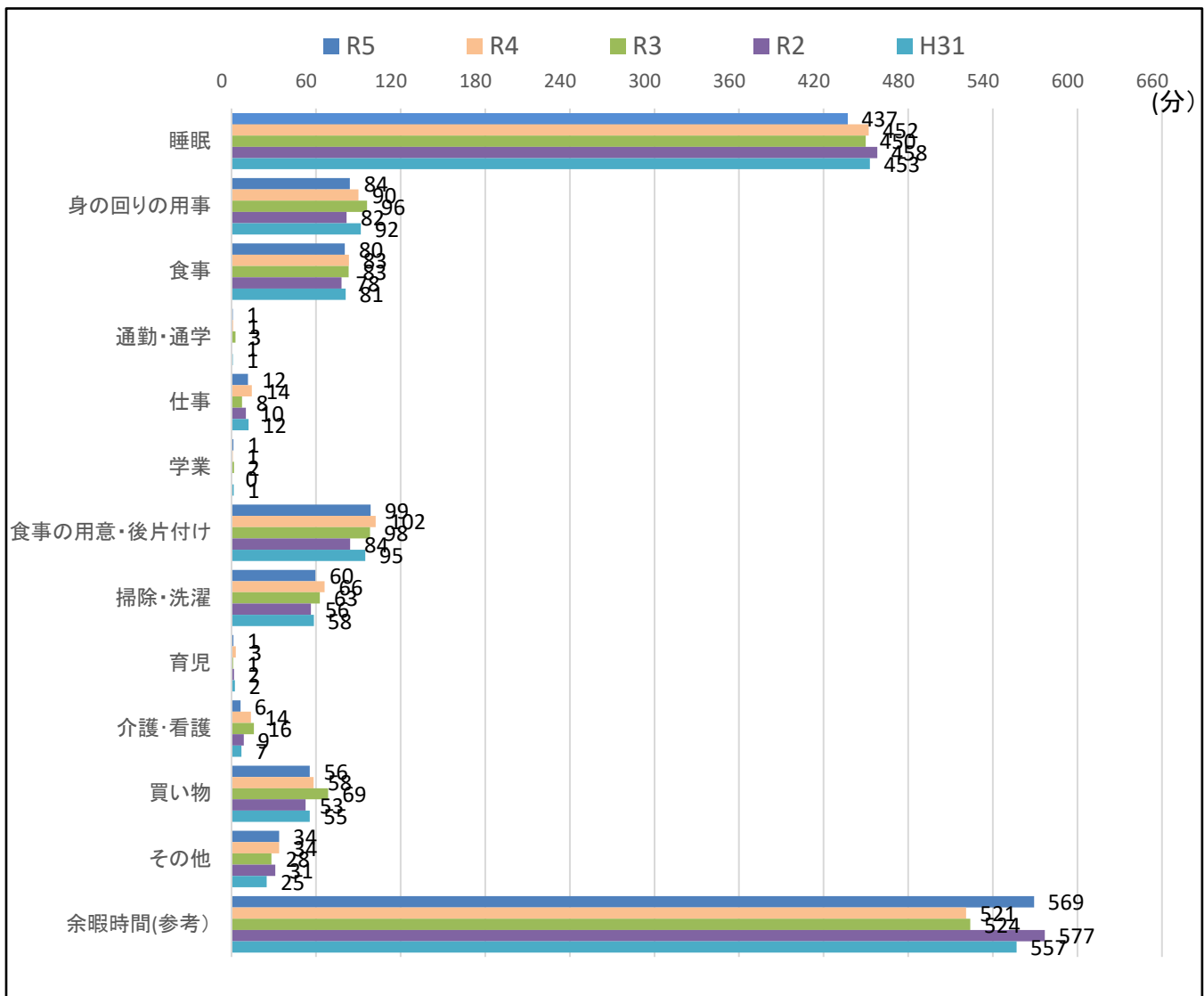
県民意識調査

問4 あなたは、普段の生活で、以下の行動をどのくらいの時間行っていますか。

70歳以上かつ無職を「無職、専業主婦、学生、その他」を無職とするくくりで集計



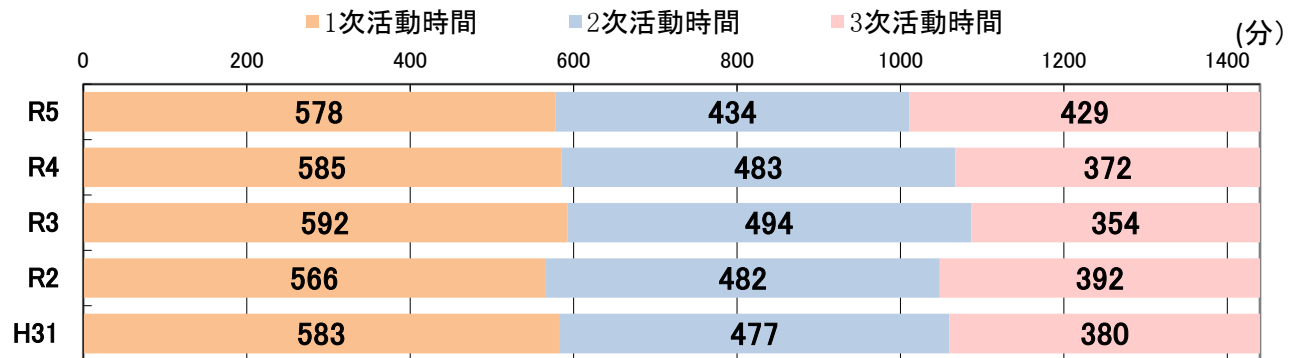
【行動種類別】



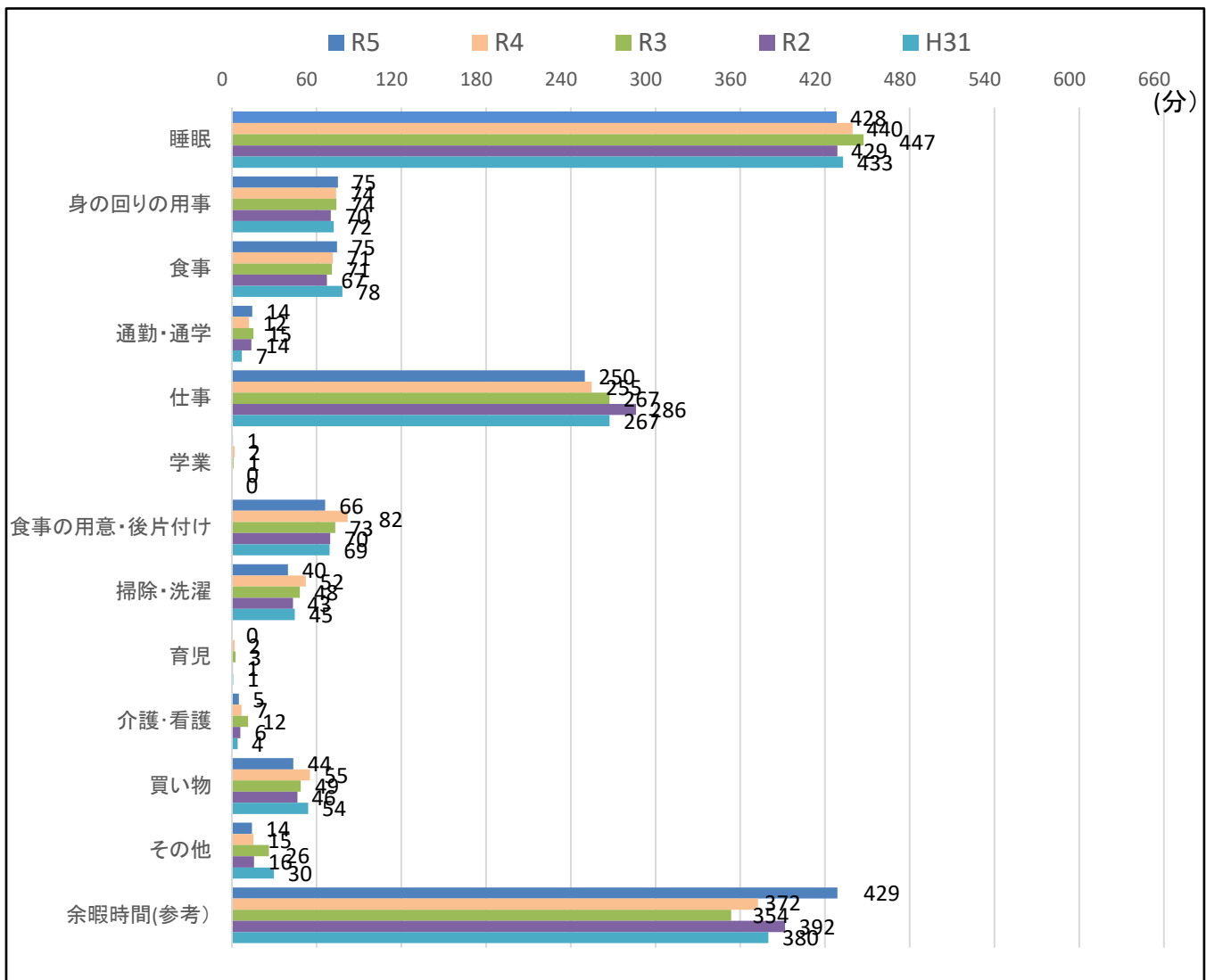
【70歳以上有職】

問4 あなたは、普段の生活で、以下の行動をどのくらいの時間行っていますか。

「無職、専業主婦、学生、その他」を除く属性を有職とくり、70歳以上かつ有職を集計



【行動種類別】



○分野別実感

②余暇が充実していると感じますか

		H31	R 2	R 3	R 4	R 5
県計 (522)		3.10	3.50	3.33	3.41	3.41
性別	男性 (265)	3.13	3.48	3.45	3.47	3.52
	女性 (254)	3.08	3.51	3.25	3.35	3.32
	その他					
年代	18～19歳 (参考)					
	20～29歳 (25)	2.98	3.68	3.41	3.81	3.76
	30～39歳 (63)	2.85	3.39	3.10	3.31	3.40
	40～49歳 (104)	2.94	3.26	3.25	3.19	3.17
	50～59歳 (103)	2.91	3.35	3.16	3.16	3.52
	60～69歳 (99)	3.29	3.52	3.38	3.50	3.34
	70歳以上 (125)	3.61	3.78	3.74	3.68	3.55
職業	自営業主 (43)	3.04	3.49	3.36	3.62	3.47
	家族従業員 (8)	3.08	3.92	3.33	2.90	3.25
	会社役員・団体役員 (30)	2.47	3.41	2.96	3.40	3.55
	常用雇用者 (197)	3.01	3.40	3.32	3.32	3.38
	臨時雇用者 (78)	3.08	3.36	3.33	3.36	3.36
	学生＋その他 (26)	3.38	3.58	3.35	3.27	3.65
	専業主婦・主夫 (52)	3.40	3.86	3.54	3.44	3.47
	60歳未満の無職 (参考) (11)	2.43	2.80	2.50	3.44	2.91
可処分所得	60歳以上の無職 (76)	3.55	3.64	3.65	3.66	3.43
	100万円未満 (103)		3.51	3.36	3.27	3.25
	100万円以上300万円未満 (263)		3.48	3.34	3.44	3.46
	300万円以上500万円未満 (95)		3.48	3.33	3.51	3.47
	500万円以上700万円未満 (33)		3.49	3.07	3.15	3.30
	700万円以上1,000万円未満 (14)		3.71	3.47	3.92	3.69
	1,000万円以上1,500万円未満 (3)		4.25	3.00	3.33	3.00
世帯構成	1,500万円以上 (2)		3.00	4.00	3.25	5.00
	ひとり暮らし (62)	3.15	3.42	3.20	3.41	3.42
	夫婦のみ (110)	3.58	3.80	3.77	3.82	3.77
	2世代世帯 (216)	2.98	3.43	3.29	3.33	3.25
	3世代世帯 (76)	3.09	3.44	3.23	3.22	3.46
	その他 (29)	2.70	3.28	2.95	3.33	3.31
子の数	1人 (66)	3.15	3.49	3.26	3.32	3.45
	2人 (190)	3.21	3.54	3.45	3.52	3.43
	3人 (108)	3.09	3.50	3.27	3.39	3.35
	4人以上 (17)	3.55	3.91	3.56	3.57	3.71
	子どもはいない (128)	2.92	3.35	3.25	3.28	3.40
住まい	持家（一戸建て） (421)		3.53	3.35	3.41	3.38
	持家（集合住宅(マンション等)） (10)		3.70	3.46	3.73	3.50
	借家（一戸建て） (21)		2.87	3.07	3.11	3.48
	借家（集合住宅(アパート等)） (55)		3.50	3.34	3.57	3.58
	その他（社宅、寮、下宿など） (6)		3.55	3.33	2.57	3.50
居住年数	10年未満 (15)	3.05	3.50	3.50	3.38	3.20
	10～20年未満 (16)	3.33	3.96	3.20	3.52	3.31
	20年以上 (483)	3.10	3.47	3.34	3.41	3.42
広域振興圏	県央 (143)	3.27	3.59	3.57	3.53	3.52
	県南 (132)	3.04	3.50	3.19	3.34	3.31
	沿岸 (121)	3.16	3.59	3.29	3.42	3.41
	県北 (125)	2.95	3.31	3.25	3.32	3.41

() は、R5調査のサンプル数

分野別実感(2)「余暇の充実」の分布(H31とR5)

(単位：人)

H31→ R5 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともい えない	2 あまり感じな い	1 感じない	0 わからない (該当しな い)	不明、未 記入、複 数回答	(計)
5 感じる	35	20	10	5	1	1	0	72
4 やや感じる	22	70	73	30	10	4	1	210
3 どちらともい えない	7	31	39	32	16	0	0	125
2 あまり感じな い	3	7	23	32	11	1	1	78
1 感じない	2	4	4	8	13	0	0	31
0 わからない (該当しな い)	0	0	0	1	0	0	0	1
不明 未記入 複数回答	1	2	1	0	0	1	0	5
(計)	70	134	150	108	51	7	2	522

- ① 実感が上昇した人(斜体かつ灰色セル) 197 人
H31からR5にかけて1段階以上上昇した人
(ただし、H31調査「1(感じない)」→R5「2(あまり感じない)」は除く。)
- ② 実感が変化なしの人(黒色セル、白文字) 189 人
- ③ 実感が低下した人(水玉パターンのセル) 89 人
H31からR5にかけて1段階以上低下した人。
(ただし、H31調査「5(感じる)」→R5「4(やや感じる)」は除く。)

分野別実感の回答理由

(2) 余暇の充実

補足調査

ア 実感の変化別

分 野	上昇	横ばい	低下
R2	ア 自由な時間の確保 イ 家族との交流 ウ 趣味・娯楽活動の場所・機会	ア 自由な時間の確保 イ 知人・友人との交流 ウ 家族との交流	ア 自由な時間の確保 イ 趣味・娯楽活動の場所・機会 ウ 知人・友人との交流
R3	ア 自由な時間の確保 イ 家族との交流 ウ 趣味・娯楽活動の場所・機会	ア 自由な時間の確保 イ 知人・友人との交流 ウ 趣味・娯楽活動の場所・機会	ア 自由な時間の確保 イ 知人・友人との交流 ウ 趣味・娯楽活動の場所・機会
R4	ア 自由な時間の確保 イ 家族との交流 ウ 趣味・娯楽活動の場所・機会	ア 自由な時間の確保 イ 知人・友人との交流 ウ 趣味・娯楽活動の場所・機会	ア 自由な時間の確保 イ 趣味・娯楽活動の場所・機会 ウ 知人・友人との交流
R5	ア 自由な時間の確保 イ 家族との交流 ウ 趣味・娯楽活動の場所・機会	ア 自由な時間の確保 イ 家族との交流 ウ 趣味・娯楽活動の場所・機会	ア 自由な時間の確保 イ 知人・友人との交流 ウ 趣味・娯楽活動の場所・機会

イ 単純集計（各調査年）

分 野	感じる・やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない・感じない
R2	ア 自由な時間の確保 イ 家族との交流 ウ 趣味・娯楽活動の場所・機会	ア 自由な時間の確保 イ 趣味・娯楽活動の場所・機会 ウ 家族との交流	ア 自由な時間の確保 イ 知人・友人との交流 ウ 趣味・娯楽活動の場所・機会
R3	ア 自由な時間の確保 イ 家族との交流 ウ 趣味・娯楽活動の場所・機会 エ 知人・友人との交流	ア 自由な時間の確保 イ 知人・友人との交流 ウ 趣味・娯楽活動の場所・機会	ア 自由な時間の確保 イ 知人・友人との交流 ウ 趣味・娯楽活動の場所・機会
R4	ア 自由な時間の確保 イ 家族との交流 ウ 趣味・娯楽活動の場所・機会	ア 自由な時間の確保 イ 知人・友人との交流 ウ 趣味・娯楽活動の場所・機会	ア 自由な時間の確保 イ 趣味・娯楽活動の場所・機会 ウ 知人・友人との交流
R5	ア 自由な時間の確保 イ 家族との交流 ウ 趣味・娯楽活動の場所・機会	ア 自由な時間の確保 イ 趣味・娯楽活動の場所・機会 ウ 知人・友人との交流	ア 自由な時間の確保 イ 知人・友人との交流 ウ 趣味・娯楽活動の場所・機会